

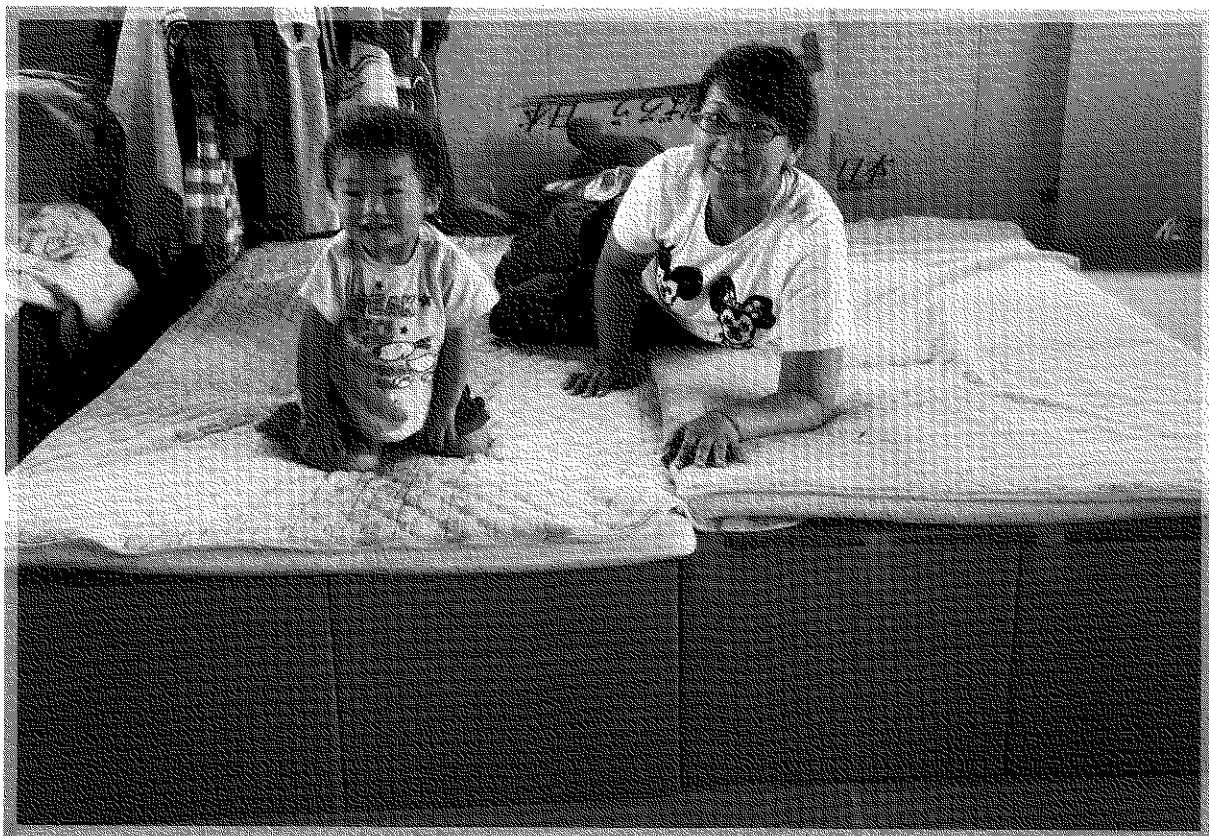
吹田市地域防災総合訓練

&

ストップザ雑魚寝！シンポジウム 2013

全ての避難者に簡易ベッドの導入を！

避 難 所 の 環 境 改 善 ！



主 催 吹田市 関西大学 ストップザ雑魚寝！実行委員会
共 催 佐賀大学 新潟大学災害復興科学研究所
後 援 大阪府・佐賀県・新潟県 日本赤十字社大阪府支部

開催趣旨

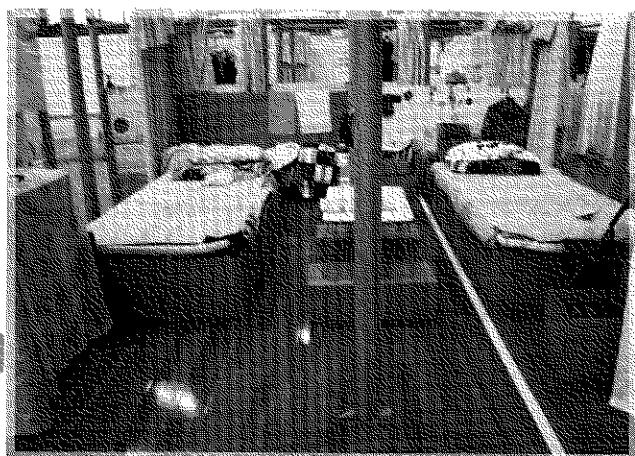
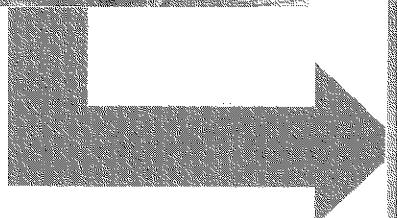
災害時の避難所では、血栓症を始め多くの健康被害のリスクが報告されています。これらの中には避難所の環境に起因するものがあり、特に雑魚寝がすべての被災者の健康状態を脅かしている事実が明らかとなっていました。

災害時の避難所に簡易ベッドを設置することはグローバルスタンダードであり、日本の避難所のように長期にわたる雑魚寝を許容している例は世界に類を見ません。介護が必要な高齢者や災害弱者だけでなく、すべての被災者に簡易ベッドを提供し、エコノミークラス症候群や生活不活発病（ロコモーティブシンドローム）、呼吸器・循環器疾患を含む健康被害を食い止めることができ、市民を震災関連死の危険性から救うことになるでしょう。

このような災害時の避難所における健康被害の危険性を周知し、簡易ベッドの必要性を広く理解してもらうことをシンポジウム開催の目的とします。

ストップザ雑魚寝！実行委員会

実行委員長 棚沢 和彦
副委員長 北川 慶子
副委員長 植田 信策
事務局 水谷 嘉浩



開催要項

1. 指定避難所である体育館を使って簡易ベッドを導入した模擬避難所を設営し、市民や行政担当者に体験してもらう。
 2. 災害医療の研究者や被災地の医師による避難所に関する問題点の報告。
 3. 医療、福祉、行政、政治、企業の代表とパネルディスカッション。

日時場所

平成 25 年 5 月 18 日(土) 9 時～16 時 10 分(第 2・3・4 会場は 13 時～)
●避難所設営訓練：9 時～13 時 ●シンポジウム：13 時～16 時 10 分

メイン会場 関西大学千里山キャンパス BIG ホール 100 東体育馆

第2会場 佐賀大学本庄キャンパス教養教育大講義室

第3会場 新潟大学五土嵐キャンパスベンチャービジネスラボラトリ

第4会場 岩手県大槌町仮設住宅検診会場

入場無料



避難所設當訓練

東體育館

9:00 ~ 9:30	簡易ベッド搬入	~セツツカートン
9:30 ~ 11:00	簡易ベッド組み立て訓練	~吹田市民
11:30 ~ 13:00	簡易ベッド展示と雑魚寝比較体験	~自由参加
10:00 ~ 13:00	炊き出し配給訓練	~吹田市防災
11:30 ~ 13:00	災害用バスシャワー展示体験	~ヒラカワ

出展企業

災害用バスシャワー	(株)ヒラカワ
防災グッズ	(株)ロゴスコーポレーション
防災グッズ	オルウイン(株)
避難所用パーテーション	レンゴー(株)
防災協定申し込みデスク	セツツカートン(株)
避難所用トイレ、手すり	日本セーフティ(株)



挨拶・講演 13:00 ~ 14:30

開会挨拶 吹田市長 井上 哲也氏

挨拶 関西大学学長 楠見晴重氏

- ① “避難所の静脈血栓症（エコノミークラス症候群）と簡易ベッドの必要性：
新潟県中越地震～東日本大震災及びイタリア北部地震における検討”
新潟大学大学院呼吸循環外科講師、災害復興科学研究所研究員 棚沢 和彦氏

② “二次健康被害を防ぐ避難所の提言—石巻でのDVT調査と簡易ベッド健康調査”
石巻赤十字病院呼吸器外科健診部長、東北大学医学部臨床准教授 植田 信策氏

③ “東日本大震災の現場、松原苑のその日”
陸前高田市老人福祉施設松原苑 介護次長 尾崎 洋一氏

④ “福祉避難所での簡易ベッド使用経験から”
理学療法士 横瀬 英理子氏

⑤ “被災者支援と避難生活”
関西大学社会安全学部准教授 菅 磨志保氏

⑥ “災害時における簡易ベッドの供給スキームについて”
Jパックス株代表 水谷 嘉浩氏

◆榛沢 和彦（はんざわ かずひこ）

千葉市出身、新潟大学医学部平成元年卒、医学博士、新潟大学大学院呼吸循環外科講師、新潟大学災害・復興科学研究所研究員、聖マリアンナ医科大学内科講師、獨協医科大学神経内科非常勤講師、専門は心臓血管外科で現在はステントグラフトなどの低侵襲手術を行っている。各種血管エコー検査の普及に努め、新潟県中越地震、能登半島地震、中越沖地震、宮城・岩手内陸地震、東日本大震災などの被災地でエコノミークラス症候群などの予防のため下肢静脈エコー検診を地元の医師、技師と共にに行ってきた。現在も被災地での検診を行っている。これまでの活動を通して健康被害予防のために避難所への簡易ベッド設置の必要性を2007年から訴えてきた。

◆植田 信策（うえだ しんさく）

石巻赤十字病院呼吸器外科・健診部長、東北大学医学部臨床准教授、医学博士、呼吸器外科専門医。大阪府立四条畷高校出身、東北大学卒。東日本大震災では被災地の災害拠点病院医師として被災者救護に従事。その後、被災地避難所で下肢静脈エコー検診を開始し、簡易ベッド導入効果の実証試験を行った。現在石巻市役所とともに仮設住宅を中心に被災地での生活不活発病予防プロジェクトを継続している。

◆菅 磨志保（すが ましほ）

神奈川県出身。関西大学社会安全学部准教授。東京都立大学社会科学研究科の修士課程在学中に発生した阪神淡路大震災を契機に災害や市民活動に関するフィールド調査を開始。97年より東京都社会福祉協議会専門員、2000年より東京都生活協同組合連合会研究員として災害救援、地域防災、地域福祉等に関する調査研究、支援事業に携わる。02年人と防災未来センター専任研究員、05年大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任教員を経て現職。

◆越山 健治（こしやま けんじ）

滋賀県出身。関西大学社会安全学部准教授。工学博士。神戸大学工学部環境計画学科、同大学院博士課程と進み卒業。(株)富士総合研究所研究開発第一部にて勤務後、神戸大学大学院自然科学研究科専任助手着任。(財)阪神淡路大震災記念協会・人と防災未来センター研究員を経て2010年に関西大学着任。専門は都市安全計画、都市復興過程や地域住宅再建計画、自治体の災害対応計画や組織計画。

◆尾崎 洋一（おざき よういち）

医療法人勝久会小規模多機能ホーム「玉山」所長。社会福祉士、介護支援専門員。岩手県大船渡市出身 東北福祉大学卒業。震災当日は、陸前高田市にある介護老人保健施設松原苑に勤務。松原苑は津波の被害は免れたが建物が損傷し、復旧までの約3ヶ月間入所利用者全員を他施設へ避難させ、現在は通常運営している。小規模多機能ホーム「玉山」は、震災後の平成23年5月2日開所している。

◆横瀬 英理子（よこせ えりこ）

東京都立保健科学大学卒業。理学療法士

東日本大震災を機に日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト（PCAT）に参加し宮城県石巻市で発災後より半年間活動。大規模福祉避難所の運営や地域医療の支援に従事

◆水谷 嘉浩（みずたに よしひろ）

大阪府出身、同志社大学卒業。Jパックス株代表取締役。東日本大震災直後に段ボールベッドを考案し支援活動を開始。東北3県と台風12号の避難所50ヶ所以上を訪問し大手メーカーと共に3千床を提供。現在は、避難所の環境改善に取り組み、段ボールベッド供給の仕組みを全国に構築することで避難所での2次健康被害の低減を目指している。

休憩

14:30～14:40

パネルディスカッション

14:40 ~ 16:10

- 基調講演 “防災・減災研究から見た安全な避難所のあり方”
関西大学社会安全学部准教授 越山 健治氏
- 座長 新潟大学大学院呼吸循環外科講師、災害復興科学研究所研究員 棚沢 和彦氏
石巻赤十字病院呼吸器外科健診部長、東北大学医学部臨床准教授 植田 信策氏
- アジェンダ
 - ① “避難所における居住環境の標準化…雑魚寝から簡易ベッドへの転換と災害後のフェーズに分けた望ましい避難所環境”
 - ② “福祉避難所における介護環境の改善…要介護者と支援者にとって望ましい介護環境”
 - ③ “災害後慢性期の仮設住宅における二次健康被害のレポート”
- 総合討論 4会場中継

パネリスト

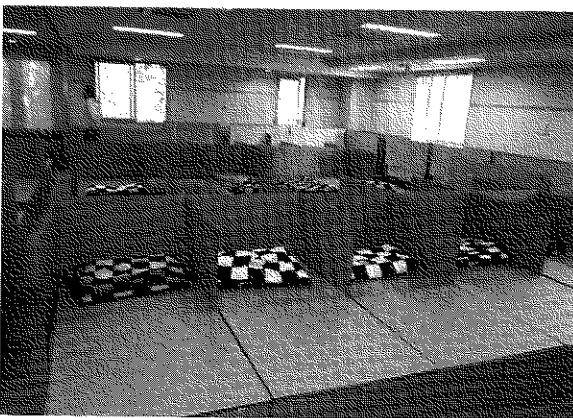
- 吹田市議会議長 竹内 忍一氏
- 関西大学社会安全学部准教授 菅 磨志保氏
- 関西大学社会安全学部准教授 越山 健治氏
- 大阪府災害対策課長 芳本 竜一氏
- 陸前高田市老人福祉施設松原苑 介護次長 尾崎 洋一氏
- 東日本大震災支援プロジェクトP C A T 理学療法士 横瀬 英理子氏
- Jパックス株式会社 水谷 嘉浩
- 佐賀大学文化教育学部教授 北川 慶子氏（第2会場）
- 佐賀大学大学院教授 大串 浩一郎氏（第2会場）
- 新潟大学復興科学研究所准教授 卜部 厚志氏（第3会場）
- 盛岡市立病院診療部長兼神経内科長 佐々木 一裕氏（大槌町仮設住宅検診会場）

総括

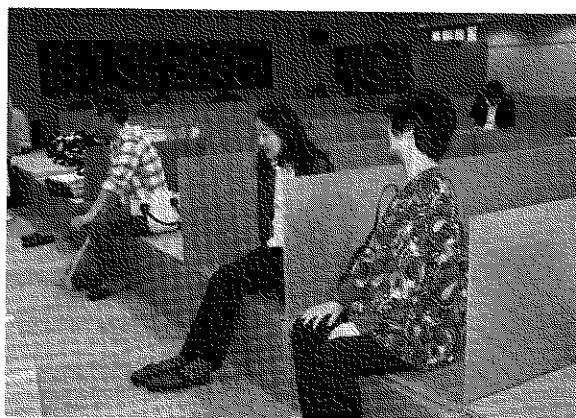
ストップザ雑魚寝！実行委員長 棚沢 和彦氏

参考写真

■ 簡易ベッド 40 床を設営した模擬避難所



実際に避難所を設営して体験してもらう

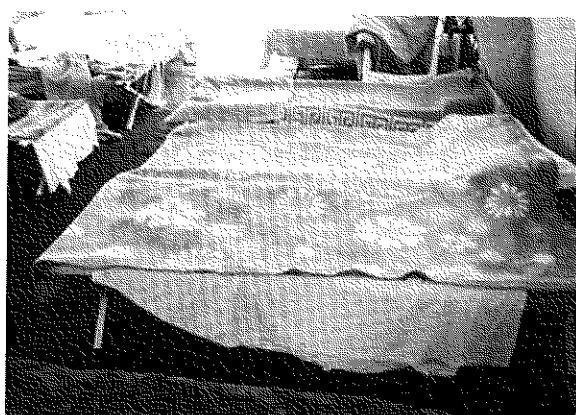


簡易ベッドの必要性を広く市民に知ってもらう

■ 簡易ベッドの設置が制度化されている海外の避難所



2012年 米ハリケーンサンディの避難所

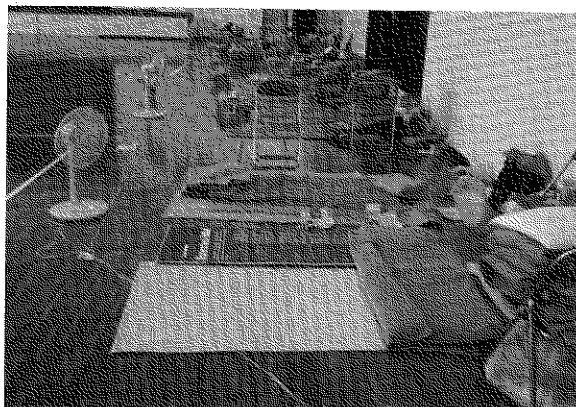


2012年 イタリア北部地震の避難所

■ 日本の標準的な雑魚寝の避難所

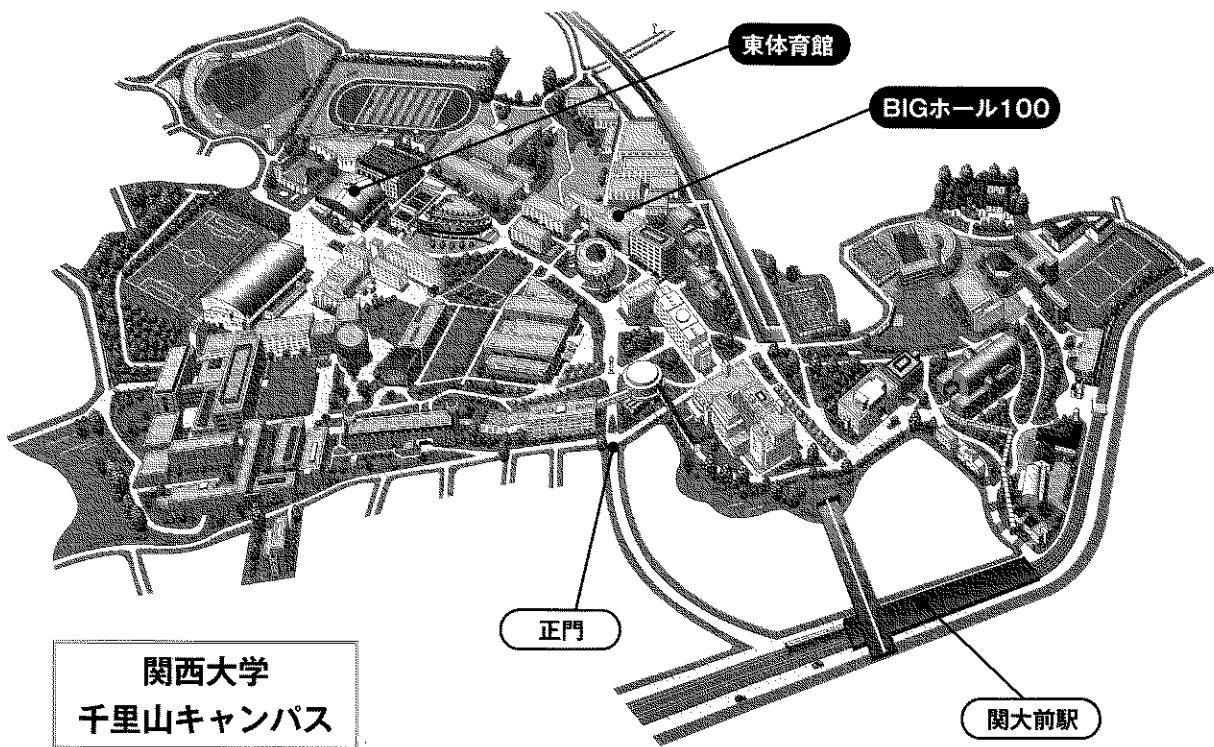


2011年 東日本大震災の避難所



2011年 台風 12号の避難所

会場案内



問い合わせ／資料ダウンロード

▼シンポジウム専用ホームページ

<http://stop-zakone.jpacks.co.jp/schedule/>

ストップザ雑魚寝！実行委員会事務局

水谷 嘉浩

E-mail / mizutani@jpacks.co.jp

携帯 / 090-8653-5129

ストップザ雑魚寝！
助かった命を守るために！